

平成28年 年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会  
会 長 清 水 信 次

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、国民生活産業・消費者団体連合会を代表しご挨拶を申し上げます。

昨年は、過去に日本国家が大きな過ちを犯し全国民を苦境に追いやった先の大戦の敗戦から70年という大きな節目の年でありました。今の我が国の発展は、戦後の荒廃そして米国の占領下の中、国民の誰もが、“この日本を一日も早く復興させ、普通の生活を取り戻したい”という強い想いを抱きつつ、もがき苦しみながらも這い上がり、血の滲むような努力をした結果であることを忘れてはなりません。

現在の国民生活は、衣・食・住そして医療のどれをとっても世界で最高のレベルになり、平均寿命も世界一です。しかしながら、戦前・戦中・戦後の日本を生きてきた私から見ると、豊かになりすぎたせいか、若干タガが緩み人々の心は逆に貧しくなっているように思えてなりません。戦前の日本は、物質的には貧しかったですが、生活は今と比べるとはるかに潤いがあり、親子、友人、近隣との関係も和やかで、人間社会で生きている喜びと楽しみがありました。更に歴史を遡ると、幕末の日本において、我が国の将来を憂う多くの志高き志士たちの行動が原動力となり、今から149年前、明治維新が成し遂げられました。当時の志士たちは、己の命よりも我が国の将来をただ一途に思い行動を起こしたのです。私たちは、日本国民が元来持つこのような生き方や精神を再認識する必要があるのではないのでしょうか。

誰もが日本人に産まれて良かったと思える国家にするため、今こそ政官民が一体となり国家100年の大計を議論すべき時です。そして日本の将来を見据えるためには、世界の中の日本の立ち位置をしっかりと考えなくてははいけません。日本は人口減少社会を迎えておりますが、世界の人口は今や72億人を超え増加の一途です。それに伴い、水・食糧・資源の問題や環境問題、更には自然災害等、課題は山積しており地球的な視野で物事を考えていかなくてははいけません。大きな変革期である今、日本人の誇るべき精神を取り戻し、この国の将来のため一致団結して困難に果敢に挑戦していかなければなりません。

このような中、当連合会は、国民生活の安全・安定の確保と質の向上、関連企業の健全な発展への貢献を通じて、「国民の生活・生命を守る」という使命を追求し続けるという活動指針のもと、小さな枠に捉われることなく幅広い視野を持ち、事業者の利益ではなく生活者の利益を第一に会員一丸となって日本社会が抱える大きな課題である、「災害対策」、「食品廃棄問題」、「エネルギー問題」、「人口減少・超高齢社会への対応」という4つの課題に対し果敢に取り組みを進めているところです。

皆様には、引き続き本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

---

国民生活産業・消費者団体連合会

本部：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階

TEL：(03) 3662-5240

虎ノ門事務所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-17 虎ノ門 NN ビル 11 階 日本チェーンストア協会内 TEL：(03) 6268-8730